

(令8志) 模擬講義レポート

(問題部分 1~4 ページ)

注意事項

- (1) 使用できるもの：黒鉛筆・シャープペンシル・プラスチック製の消しゴム・小型鉛筆削り、時計等「受験者心得」で指示したもの、模擬講義資料。
- (2) 受験番号欄は各答案用紙の解答欄と評点欄の2か所、氏名欄は解答欄に1か所あります。受験番号は5けたの数字を枠内に1字ずつ明確に記入してください。
- (3) 受験番号および氏名を指示されたところ以外に記入した場合や受験番号の数字が判別できない場合、採点の対象になりません。
- (4) 解答は、黒鉛筆またはシャープペンシルで答案用紙の所定の枠内に明確に記入してください。
- (5) 答案用紙の裏面には何も記入してはいけません。
- (6) 答案用紙に支持された以外のことを記入しても採点の対象になりません。
- (7) 日本語で字数指定のある解答については、句読点も1字に数えます。2けた以上の算用数字は、答案用紙の1マスに2けたの数字を記入し、1字に数えます。なお、アルファベットは算用数字に準じます。

例：

「	青	か	っ	た	。	」
---	---	---	---	---	---	---

 7字 /

20	20
----	----

 2字 /

bo	ok
----	----

 2字

1. 講義で示された内容と講義資料を参考に、以下の問1～問3に答えなさい。

(配点率9%)

問1 2020年4月の日本において、感染症流行を防ぐ目的で一般市民の行動制限を行うために用いられた法律の名称を、省略せずに書きなさい。

問2 「国際保健機関」の略称をアルファベット3文字で書きなさい。

問3 quarantine の語源となったイタリア語の言葉が表す期間は何日間か、数字で答えなさい。

2. クラスター対策とは何かを説明し、まだ感染者が少ない段階での新型コロナの感染対策として、前向き接触者調査によるものよりもクラスター対策が有効である理由を説明しなさい。合わせて200字以内で記述すること。また、「二次感染」「前向き接触者調査」「さかのぼり接触者調査」の用語を必ず用いること。

(配点率 16%)

3. 次の図は、数理モデルの専門家が2020年1月15日から5月9日までの期間について、全国の実効再生産数と発症日ごとの患者数を推定した結果を示したものである。青い折れ線が実効再生産数の推定値、黄色の棒グラフは発症日ごとに推定患者数をプロットしたもの、黒の棒グラフは海外からの輸入患者数の推定値を表す。このグラフから、3月以降の実効再生産数の増減を読み取り、日付や数値に言及しながら記述した上で、緊急事態宣言の効果について述べなさい。合わせて350字以内でまとめること。(なお、折れ線の上下にある青い影は、95%信用区間などを表すが、解答にあたっては無視してよい。)

(配点率 30%)

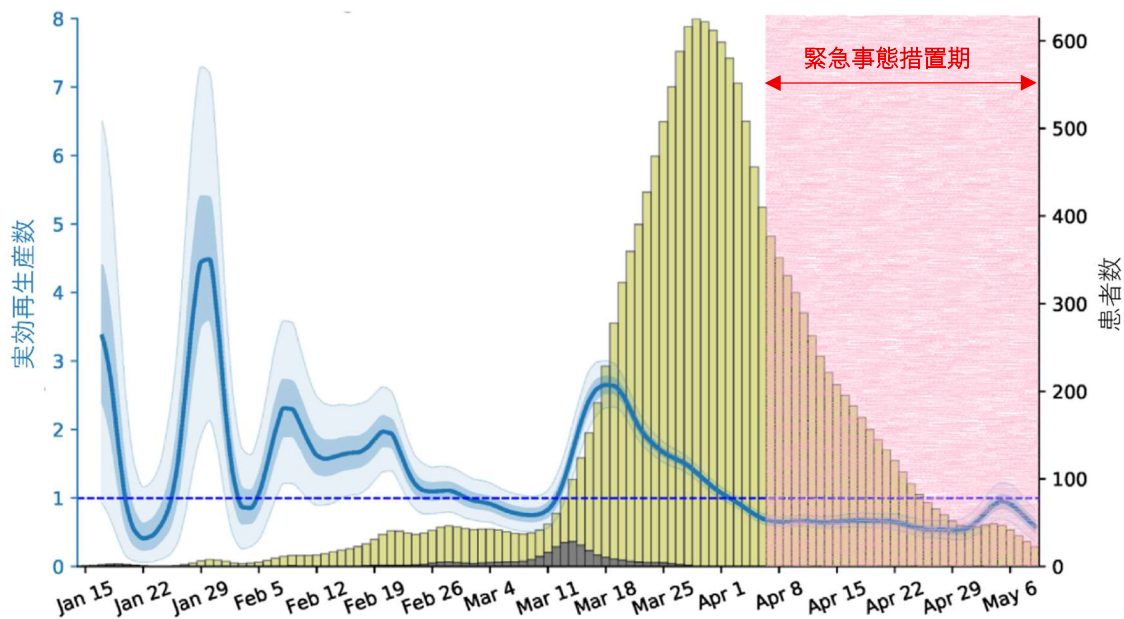


図 (出典:「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」、専門家会議、第15回(2020.05.29))

4. 境界と監視の技術を用いて現代社会の問題にそれぞれの立場で携わる専門的職業人には、どのような資質・能力が必要であると考えられるか。以下の(1)～(4)に答えることを通じて議論しなさい。

(配点率 45%)

- (1) 「医療分野・自然科学分野の専門家」「人文学・社会科学分野の専門家」「政策決定者」の3つの立場から、あなたが議論の対象としたい立場を1つ選び、解答用紙の「立場」の欄に記入しなさい。
- (2) 境界と監視の技術を用いて解決を図るべき具体的な現代社会の問題の中から、あなたが議論の対象としたいものを1つ取り上げ、その問題を50字以内で解答用紙の「問題」の欄に記述しなさい。なお問題として、感染症対策など講義で挙げた問題を取り上げても構わないし、他の問題を取り上げても構わない。
- (3) 政府が(2)の問題を解決するにあたり満たすべき条件について、根拠を明らかにしつつ200字以内で説明しなさい。
- (4) あなたが(1)で選んだ立場から(2)の問題解決にあたる際に、その立場の人が果たす役割と、必要となる資質・能力について、250字以内で説明しなさい。